



目次	ページ
告示	
◎高知県重度心身障害児療養手当支給規程の一部改正 (障害保健福祉課)	1
○共同漁業権及び区画漁業権の免許の内容となるべき事項等の定め (漁業管理課)	1
○遊漁規則の一部変更の認可 ( " )	3
○道路の区域変更 (道 路 課)	3
○道路の供用開始 ( " )	3
公 告	
○特定非営利活動法人の設立認証の申請 (2件) (県民生活・男女共同参画課)	3
○特定非営利活動法人の定款変更認証の申請 (2件) ( " )	4
○農用地利用配分計画の認可 (農地・担い手対策課)	4
○海洋生物資源の保存及び管理に関する法律による県計画の変更 (漁業管理課)	4
○開発行為に関する工事の完了 (都市計画課)	6
高知県内水面漁場管理委員会指示	
○にほんうなぎの採捕の禁止についての指示	6
高知県内水面漁場管理委員会公告	
○平成27年における増殖目標量、期間等	7

-----  
告 示  
-----

**高知県告示第710号**  
 高知県重度心身障害児療養手当支給規程（昭和48年5月高知県告示第254号）の一部を次のように改正する。  
 平成26年12月26日  
 高知県知事 尾崎 正直  
 第2条第1項第3号中「第6条の2第3項」を「第6条の2の2第3項」に、「指定医療機関」を「指定発達支援医療機関」に

改め、同条第2項中「これを」を「、これを」に改める。  
 第5条第1項中「以下」を「以下この条において」に改め、同項第1号中「住民票抄本」を「住民票の写しの抄本」に改める。  
 第9条第2項中「受給者」を「当該受給者」に改める。  
 第11条中「返還させることがある」を「返還させることができる」に改める。  
 別記第1号様式中「歳ごろから」を「歳頃から」に改め、同様式注中「「支払金融機関」欄は」を「「支払希望金融機関」欄を」に改める。  
 別記第3号様式中「変更したので」を「変更しましたので、」に改め、同様式注中「住民票」を「住民票の写しの抄本」に、「添付してください」を「添えてください」に改める。  
 別記第4号様式中「喪失したので」を「喪失しましたので、」に、「施設へ」を「施設に」に、「該当しなくなった」を「、該当しなくなった」に、「県外へ」を「県外に」に改める。

**附 則**  
 (施行期日)  
 1 この告示は、平成27年1月1日から施行する。  
 (経過措置)  
 2 この告示による改正前の高知県重度心身障害児療育手当支給規程別記様式は、この告示による改正後の高知県重度心身障害児療育手当支給規程の規定にかかわらず、残品の限度で使用することができる。  
**高知県告示第711号**  
 漁業法（昭和24年法律第267号）第11条第1項の規定により、共同漁業権及び区画漁業権の免許の内容となるべき事項、免許予定日、申請期間及び関係地区（区画漁業権にあつては、地元地区）を次のとおり定めた。  
 平成26年12月26日  
 高知県知事 尾崎 正直

第1 漁業権の漁場の位置及び区域、漁業の種類及び時期、関係地区（区画漁業権にあつては、地元地区）並びに制限又は条件  
 ◎共同漁業権（9件）  
 [第一種共同漁業]  
 1 公示番号 共第1,098号  
 (1) 漁場の位置及び区域  
 ア 漁場の位置 高岡郡四万十町冠崎から同郡と幡多郡との郡界までの地先  
 イ 漁場の区域  
 点の位置  
 基点甲 高岡郡四万十町冠崎県漁場基点第101号  
 基点乙 高岡郡・幡多郡界共同漁業権境界基点  
 甲から磁針方位110度0分の線及び乙から磁針方位120度0分の線により区切られた海域中甲乙間の最大高潮時の海岸線から沖合400メートルの線に至る区域。ただ

し、区画漁業権の漁場区域を除く。  
 (2) 漁業の種類及び時期  

漁業の種類	漁業の時期
第一種共同漁業 い	9月16日から翌年4月30日まで
せえび漁業	
第一種共同漁業 あ	4月1日から8月31日まで
わび漁業	
第一種共同漁業 と	4月1日から8月31日まで
こぶし漁業	
第一種共同漁業 さ	4月1日から8月31日まで
ざえ漁業	
第一種共同漁業 て	3月1日から8月31日まで
んぐさ類漁業	
第一種共同漁業 ふ	1月1日から9月30日まで
のり漁業	
第一種共同漁業 あ	1月1日から12月31日まで
まのり漁業	

 (3) 関係地区  
 高岡郡四万十町のうち興津  
 (4) 制限又は条件  
 なし  
 2 公示番号 共第1,099号  
 (1) 漁場の位置及び区域  
 ア 漁場の位置 高岡郡四万十町興津一の礁地先  
 イ 漁場の区域  
 一の礁の周囲の最大高潮時の海岸線及び同海岸線から沖合400メートルの線により囲まれた区域  
 (2) 漁業の種類及び時期  

漁業の種類	漁業の時期
第一種共同漁業 い	9月16日から翌年4月30日まで
せえび漁業	
第一種共同漁業 あ	4月1日から8月31日まで
わび漁業	
第一種共同漁業 と	4月1日から8月31日まで
こぶし漁業	
第一種共同漁業 さ	4月1日から8月31日まで
ざえ漁業	
第一種共同漁業 て	3月1日から8月31日まで
んぐさ類漁業	
第一種共同漁業 ふ	1月1日から9月30日まで
のり漁業	
第一種共同漁業 あ	1月1日から12月31日まで
まのり漁業	

 (3) 関係地区  
 高岡郡四万十町のうち興津

<p>(4) 制限又は条件 なし</p> <p>[第二種共同漁業]</p> <p>3 公示番号 共第2,092号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p> <p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町冠崎から同郡と幡多郡との郡界までの地先</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 基点甲 高岡郡四万十町冠崎県漁場基点第101号 基点乙 高岡郡・幡多郡界共同漁業権境界基点 甲から磁針方位110度0分の線及び乙から磁針方位120度0分の線により区切られた海域中甲乙間の最大高潮時の海岸線から沖合1,000メートルの線に至る区域並びに一の礁の周囲の最大高潮時の海岸線及び同海岸線から沖合400メートルの線により囲まれた区域。ただし、区画漁業権の漁場区域を除く。</p> <p>(2) 漁業の種類及び時期 漁業の種類 漁業の時期 第二種共同漁業 い 9月16日から翌年4月30日まで せえび磯建網漁業 第二種共同漁業 い 1月1日から12月31日まで そうお磯建網漁業 第二種共同漁業 雑 1月1日から12月31日まで 魚ます網漁業</p> <p>(3) 関係地区 高岡郡四万十町のうち興津</p> <p>(4) 制限又は条件 火光を利用してはならない。</p> <p>[第三種共同漁業（飼付）]</p> <p>4 公示番号 共第3,134号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p> <p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町興津崎沖（大礁）</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 物標甲（右標） 高岡郡四万十町志和黑渚 物標乙（中標） 高岡郡四万十町興津灯台 物標丙（左標） 高岡郡四万十町興津一礁 甲アと乙アとの夾角が33度26分となり、乙アと丙アとの夾角が99度0分となるアを中心とする半径250メートルの円周内の区域</p> <p>(2) 漁業の種類及び時期 漁業の種類 漁業の時期 第三種共同漁業 ぶ 10月1日から翌年3月31日まで り飼付漁業</p>	<p>(3) 関係地区 高岡郡四万十町のうち興津</p> <p>(4) 制限又は条件 なし</p> <p>[第三種共同漁業（つきいそ）]</p> <p>5 公示番号 共第3,815号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p> <p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町興津押上りの鼻沖</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 物標甲（右標） 高岡郡四万十町志和黑渚 物標乙（中標） 高岡郡四万十町六川山西の頂上 物標丙（左標） 高岡郡四万十町興津灯台 甲アと乙アとの夾角が62度38分となり、乙アと丙アとの夾角が109度18分となるアを中心とする半径200メートルの円周内の区域</p> <p>(2) 漁場の種類及び時期 漁業の種類 漁業の時期 第三種共同漁業 つ 1月1日から12月31日まで きいそ漁業</p> <p>(3) 関係地区 高岡郡四万十町のうち興津</p> <p>(4) 制限又は条件 なし</p> <p>6 公示番号 共第3,816号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p> <p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町冠崎沖（上の沖磯）</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 物標甲（右標） 高岡郡四万十町志和黑渚 物標乙（中標） 高岡郡四万十町六川山西の頂上 物標丙（左標） 高岡郡四万十町興津灯台 甲アと乙アとの夾角が46度27分となり、乙アと丙アとの夾角が57度57分となるアを中心とする半径200メートルの円周内の区域</p> <p>(2) 漁場の種類及び時期 漁業の種類 漁業の時期 第三種共同漁業 つ 1月1日から12月31日まで きいそ漁業</p> <p>(3) 関係地区 高岡郡四万十町のうち興津</p> <p>(4) 制限又は条件 なし</p> <p>7 公示番号 共第3,817号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p>	<p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町興津崎沖（前の礁沖の礁）</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 物標甲（右標） 高岡郡四万十町志和黑渚 物標乙（中標） 高岡郡四万十町六川山西の頂上 物標丙（左標） 高岡郡四万十町興津灯台 甲アと乙アとの夾角が42度2分となり、乙アと丙アとの夾角が59度50分となるアを中心とする半径200メートルの円周内の区域</p> <p>(2) 漁場の種類及び時期 漁業の種類 漁業の時期 第三種共同漁業 つ 1月1日から12月31日まで きいそ漁業</p> <p>(3) 関係地区 高岡郡四万十町のうち興津</p> <p>(4) 制限又は条件 なし</p> <p>8 公示番号 共第3,818号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p> <p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町興津崎沖（礁の渚の下の礁）</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 物標甲（右標） 高岡郡四万十町志和黑渚 物標乙（中標） 高岡郡四万十町興津灯台 物標丙（左標） 幡多郡黒潮町鹿島灯台 甲アと乙アとの夾角が45度31分となり、乙アと丙アとの夾角が84度37分となるアを中心とする半径200メートルの円周内の区域</p> <p>(2) 漁場の種類及び時期 漁業の種類 漁業の時期 第三種共同漁業 つ 1月1日から12月31日まで きいそ漁業</p> <p>(3) 関係地区 高岡郡四万十町のうち興津</p> <p>(4) 制限又は条件 なし</p> <p>9 公示番号 共第3,819号</p> <p>(1) 漁場の位置及び区域</p> <p>ア 漁場の位置 高岡郡四万十町一礁沖（赤ばの鼻沖）</p> <p>イ 漁場の区域 点の位置 物標甲（右標） 高岡郡四万十町興津灯台 物標乙（中標） 幡多郡黒潮町弁天崎突端</p>
--	--	--

物標丙（左標） 幡多郡黒潮町鹿島灯台  
 甲アと乙アとの夾角が116度45分となり、乙アと丙アとの夾角が34度27分となるアを中心とする半径200メートルの円周内の区域

(2) 漁場の種類及び時期

漁業の種類 漁業の時期  
 第三種共同漁業 つ 1月1日から12月31日まで  
 さいそ漁業

(3) 関係地区

高岡郡四万十町のうち興津

(4) 制限又は条件  
なし

◎区画漁業権（1件）

〔第一種区画漁業（魚類養殖）〕

1 公示番号 区第3,081号

(1) 漁場の位置及び区域

ア 漁場の位置 幡多郡大月町龍ヶ迫長浜地先(3)  
 イ 漁場の区域

点の位置

基点甲 幡多郡大月町龍ヶ迫墓の下県漁場基点第172号

基点乙 幡多郡大月町龍ヶ迫鶴ノ糞渚県漁場基点  
 ア 甲から乙を見通した線から右に85度46分の線と乙から甲を見通した線から左に42度42分の線との交点

イ 甲から乙を見通した線から右に108度9分の線と乙から甲を見通した線から左に35度34分の線との交点

ウ 甲から乙を見通した線から右に117度20分の線と乙から甲を見通した線から左に26度53分の線との交点

エ 甲から乙を見通した線から右に88度36分の線と乙から甲を見通した線から左に32度13分の線との交点

アイ、イウ、ウエ及びエアを結ぶ4直線により囲まれた区域

(2) 漁業の種類及び時期

漁業の種類 漁業の時期  
 第一種区画漁業 魚 1月1日から12月31日まで  
 類小割り式養殖業

(3) 地元地区

宿毛市のうち小筑紫町、大島、片島、池島、坂の下、新田、宇須々木、樺、大深浦及び沖の島町母島並びに幡多郡大月町のうち赤泊、西泊、榎ノ浦、周防形、古満目、柏島、一切、安満地、泊浦、龍ヶ迫及び芳の沢

(4) 制限又は条件

昼夜間の漁具標識を特に明瞭にすること。

第2 免許予定日

平成27年4月1日

第3 漁業権の免許申請期間

平成27年2月9日から同月27日まで

第4 漁業権の存続期間

1 共同漁業権 免許の日から平成35年8月31日まで

2 区画漁業権 免許の日から平成30年8月31日まで

（この告示による共同漁業権及び区画漁業権の漁場図は、高知県水産振興部漁業管理課に備え置いて一般の縦覧に供する。）

高知県告示第712号

漁業法（昭和24年法律第267号）第129条第3項の規定により、遊漁規則の一部変更を平成26年12月24日に次のとおり認可した。  
 平成26年12月26日

高知県知事 尾崎 正直

野根川漁業協同組合 内共第501号 第五種共同漁業権遊漁規則

(1) 漁業権者の名称及び住所

野根川漁業協同組合 安芸郡東洋町野根丙1428番地1

(2) 漁業権の免許番号

内共第501号

(3) 遊漁規則の変更の内容

第6条第1項の表中「6,000円」を「8,000円」に改める。  
 附則として次のように加える。

この規則は、平成27年1月1日から施行する。

(4) 変更後の遊漁規則の施行の日

平成27年1月1日

高知県告示第713号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第1項の規定により、道路の区域を次のとおり変更する。

その関係図面は、平成26年12月26日から2週間高知県土木部道路課及び高知県須崎土木事務所において一般の縦覧に供する。

平成26年12月26日

高知県知事 尾崎 正直

- 1 道路の種類 県道
- 2 路線名 興津窪川
- 3 道路の区域

区 間	変更前後の別	敷地の幅員 (メートル)	延 長 (メートル)
高岡郡四万十町興津字神子谷山2486番26から	前	4.8 }	120
		50.0	

高岡郡四万十町興津字神子谷山2486番30まで	後	14.0 } 50.0	120
-------------------------	---	-------------------	-----

高知県告示第714号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第2項の規定により、道路の供用を次のとおり開始する。

その関係図面は、平成26年12月26日から2週間高知県土木部道路課及び高知県須崎土木事務所において一般の縦覧に供する。

平成26年12月26日

高知県知事 尾崎 正直

- 1 道路の種類 県道
- 2 路線名 興津窪川
- 3 道路の区域

供 用 開 始 区 間	延 長 (メートル)	供用開始年月日
高岡郡四万十町興津字神子谷山2486番26から高岡郡四万十町興津字神子谷山2486番30まで	120	平成26年12月26日

公 告

特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第10条第1項の規定により特定非営利活動法人の設立の認証の申請があったので、同条第2項の規定により次のとおり公告する。

なお、その関係書類は、平成26年12月18日から2週間高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課において公衆の縦覧に供する。

平成26年12月18日（揭示済）

高知県知事 尾崎 正直

申請の あった 年月日	申請に係る特定非営利活動法人			
	名称	代表者の 氏名	主たる 事務所の 所在地	定款に記載された目的
平成26年12月	特定非 営利活	塩冶 一 彦	高知市 本町四	この法人は、高知県民の福祉向上のために、

18日	動法人はすのは	丁目1番地37 高知県社会福祉センター	貧困者や刑余者等を対象に、生命を維持するための生活支援事業を行うことにより、公益の増進に寄与することを目的とする。
-----	---------	------------------------	---

~~~~~

特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第10条第1項の規定により特定非営利活動法人の設立の認証の申請があったので、同条第2項の規定により次のとおり公告する。

なお、その関係書類は、平成26年12月18日から2月間高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課において公衆の縦覧に供する。

平成26年12月18日（揭示済）

高知県知事 尾崎 正直

| 申請のあった年月日   | 申請に係る特定非営利活動法人    |        |              |                                                                                |
|-------------|-------------------|--------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------|
|             | 名称                | 代表者の氏名 | 主たる事務所の所在地   | 定款に記載された目的                                                                     |
| 平成26年12月18日 | 特定非営利活動法人訪問介護スマイル | 徳弘 賢一  | 高知市東石立町55番地4 | この法人は、障害者及び高齢者に対して、地域で自立した生活を営んでいく為に必要な事業を行い、福祉の増進を図り、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。 |

~~~~~

特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第25条第4項の規定により特定非営利活動法人の定款変更の認証の申請があったので、同条第5項において準用する同法第10条第2項の規定により次のとおり公告する。

なお、その関係書類は、平成26年12月18日から2月間高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課において公衆の縦覧に供する。

平成26年12月18日（揭示済）

高知県知事 尾崎 正直

申請のあった年月日	申請に係る特定非営利活動法人			
	名称	代表者の氏名	主たる事務所の所在地	定款に記載された目的
平成26年12月18日	変更前 特定非営利活動法人ありがとう	前田 栄子	高知市横浜西町29番32号	この法人は、高齢者、障害者（児）、乳幼児、要介護者等に対して、訪問看護、訪問介護、日中ケア、夜間ケア、広報活動等に関する事業を行い、もって公益の増進に寄与することを目的とする。
	変更後	〃	〃	この法人は、高齢者、障害者（児）、乳幼児、要支援者、要介護者等に対して、訪問看護、訪問介護、日中ケア、夜間ケア、広報活動等に関する事業を行い、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

~~~~~

特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第25条第4項の規定により特定非営利活動法人の定款変更の認証の申請があったので、同条第5項において準用する同法第10条第2項の規定により次のとおり公告する。

なお、その関係書類は、平成26年12月18日から2月間高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課において公衆の縦覧に供する。

平成26年12月18日（揭示済）

高知県知事 尾崎 正直

| 申請のあった年月日   | 申請に係る特定非営利活動法人   |        |                   |                                                                                   |
|-------------|------------------|--------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|             | 名称               | 代表者の氏名 | 主たる事務所の所在地        | 定款に記載された目的                                                                        |
| 平成26年12月18日 | 特定非営利活動法人フレンドライフ | 川崎 暢一  | 香南市野市町中ノ村1425番地13 | この法人は、高齢者、障害者（三障害者）、要介護者、要支援者等に対して、介護、給食、送迎サービス、広報活動に関する事業を行い、公益の増進に寄与することを目的とする。 |

~~~~~

農地中間管理機構の指定を受けた公益財団法人高知県農業公社から申請があった農用地利用配分計画について、次のとおり農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）第18条第1項の認可をした。

平成26年12月26日

高知県知事 尾崎 正直

1 農用地利用配分計画の概要

(1) 賃借権の設定等を受ける者の住所及び氏名又は名称

土佐市蓮池1135-1 メゾン蓮池313

森田 修平

(2) 賃借権の設定等を受ける土地の所在及び地番

土佐市甲原字カタギハエ1190番、1192番、1201番及び1204番並びに字西畑1209番

2 認可年月日

平成26年12月26日

~~~~~

海洋生物資源の保存及び管理に関する法律（平成8年法律第77号）第4条第7項の規定により、都道府県別に定める数量に関し実施すべき施策に関する県計画を変更するので、同条第10項において準用する同条第5項の規定により、次のとおり公表する。

平成26年12月26日

高知県知事 尾崎 正直

1 海洋生物資源の保存及び管理に関する方針

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 本県は、総延長約700キロメートルの長い海岸線を有しており、黒潮のもたらす豊かな恵みを利用した漁業が古くから営まれてきた。浦々には、零細な沿岸漁業を主体とする漁村が点在しており、漁業は、本県沿岸域の重要産業となっている。</p> <p>(2) 本県の平成24年の海面漁業・養殖生産量は、104,585トンで、全国の2.1パーセントを占めている（高知農林水産統計年報）。</p> <p>(3) 本県の主な漁業種類である遠洋・近海かつおまぐろ漁業、沖合漁業、沿岸漁業及び養殖業の生産量の構成比は、それぞれ31パーセント、13パーセント、37パーセント及び19パーセントとなっている（高知農林水産統計年報）。</p> <p>(4) しかし、遠洋漁業においては国際的な規制の強化、養殖業においては漁場環境の悪化、不安定な市況の変動等、両漁業を取り巻く環境は、年々厳しさを増しており、漁家経営は、予断を許さない状況となっている。</p> <p>(5) このことから、今後、沿岸域における漁船漁業の果たす役割がますます重要になってくるものと考えられるが、全国的に海洋生物資源の水準がおおむね安定している中であっても、低い水準にとどまっている資源及び水準が悪化している資源が見られ、本県の沿岸漁業の漁獲も総じて伸び悩んでおり、漁家経営は、不安定な状況となっている。</p> <p>(6) 本県の基幹産業の一翼を担う水産業が、今後も県民及び国民への高品質なたん白源の安定的な供給という責務を果たすとともに、地域経済の活性化及び発展に寄与していくためには、漁家経営の安定が不可欠である。</p> <p>(7) このため、県としては、これまでの漁業管理及び資源管理型漁業の推進等に加えて、漁獲可能量制度に基づく資源の保存及び管理措置を講ずるため、国の基本計画により決定された本県への第一種特定海洋生物資源の配分量に基づき管理を行うこととする。</p> <p>(8) 漁獲可能量を適切に管理するため、採捕数量の的確な把握を行い、必要に応じて採捕実績を公表し、併せて漁業関係者への適切な指導を行うことにより、管理の実効性を確保する。</p> <p>(9) 更に、適切な管理を行うためには、資源の分布、回遊状況、資源状況等について詳細な科学的データ又は知見の集積が必要であるため、水産試験場を中心に国との連携も図りながら資源調査体制の充実強化を図ることとする。</p> <p>(10) 特定海洋生物資源以外の海洋生物資源についても、引き続き従来からの資源管理型漁業を推進するとともに、種苗放流等の栽培漁業による資源の増殖に取り組むこととする。</p> <p>2 第一種特定海洋生物資源ごとの漁獲可能量について、本県に定められた数量に関する事項</p> <p>(1) 平成26年1月から同年12月までの第一種特定海洋生物</p> | <p>源の知事管理量は、それぞれ以下のとおりである。</p> <p>(まあじ)<br/>若干<br/>(まいわし)<br/>17,000トン</p> <p>(2) 平成26年4月から平成27年3月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量は、以下のとおりである。</p> <p>(するめいか)<br/>若干</p> <p>(3) 平成26年7月から平成27年6月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量は、それぞれ以下のとおりである。</p> <p>(さんま)<br/>若干<br/>(まさば及びごまさば)<br/>12,000トン</p> <p>(4) 平成27年1月から同年12月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量は、それぞれ以下のとおりである。</p> <p>(まあじ)<br/>若干<br/>(まいわし)<br/>若干</p> <p>(5) 平成27年4月から平成28年3月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量は、以下のとおりである。</p> <p>(するめいか)<br/>管理の対象となる期間が開始する前までに設定する。</p> <p>(6) 平成27年7月から平成28年6月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量は、それぞれ以下のとおりである。</p> <p>(さんま)<br/>管理の対象となる期間が開始する前までに設定する。<br/>(まさば及びごまさば)<br/>管理の対象となる期間が開始する前までに設定する。</p> <p>3 第一種特定海洋生物資源の知事管理量について、海洋生物資源の採捕の種類別、海域別又は期間別の数量に関する事項</p> <p>海域別及び期間別の数量は、定めない。</p> <p>また、過去の漁獲実績があるものの資源に対する漁獲圧力が小さいと認められる漁業種類については、「若干」とする。</p> <p>更に、資源に対する漁獲圧力が無視できるほど小さいと認められる漁業種類については、数量を明示しない。</p> <p>(1) 平成26年1月から同年12月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量の採捕の種類別に定める数量は、以下のとおりとする。</p> <p>(まいわし)<br/>中型まき網漁業 7,500トン<br/>定置漁業及び小型定置漁業 若干</p> <p>(2) 平成26年7月から平成27年6月までの第一種特定海洋</p> | <p>生物資源の知事管理量の採捕の種類別に定める数量は、以下のとおりとする。</p> <p>(まさば及びごまさば)<br/>中型まき網漁業 6,000トン<br/>さば釣り漁業 若干<br/>定置漁業及び小型定置漁業 若干</p> <p>(3) 平成27年7月から平成28年6月までの第一種特定海洋生物資源の知事管理量の採捕の種類別に定める数量は、以下のとおりとする。</p> <p>(まさば及びごまさば)<br/>管理の対象となる期間が開始する前までに設定する。</p> <p>4 第一種特定海洋生物資源の知事管理量に関し実施すべき施策に関する事項</p> <p>(さんま)<br/>知事許可漁業である敷網漁業及び小型まき網漁業については、現状の漁獲努力量を増加させることがないよう、許可隻数は、現状どおりとする。<br/>定置漁業権に基づく定置漁業については、現状どおりの統数を維持することとする。<br/>この結果、漁獲実績が前年の漁獲実績程度となるように努める。</p> <p>(まあじ)<br/>知事許可漁業である中型まき網漁業、敷網漁業及び小型まき網漁業については、現状の漁獲努力量を増加させることがないよう、許可隻数は、現状どおりとする。<br/>共同漁業権に基づく小型定置漁業及び定置漁業権に基づく定置漁業については、現状どおりの統数を維持することとする。<br/>この結果、漁獲実績が前年の漁獲実績程度となるように努める。</p> <p>(まいわし)<br/>知事許可漁業である中型まき網漁業、敷網漁業及び小型まき網漁業については、現状の漁獲努力量を増加させることがないよう、許可隻数は、現状どおりとする。<br/>共同漁業権に基づく小型定置漁業及び定置漁業権に基づく定置漁業については、現状どおりの統数を維持することとする。<br/>この結果、漁獲実績が前年の漁獲実績程度となるように努める。</p> <p>(まさば及びごまさば)<br/>知事許可漁業である中型まき網漁業については、漁業者による自主的な漁獲可能量の管理を推進するため、協定制度の普及・定着を図ることとし、漁獲実績が定められた配分量を超えないよう努める。また、現状の漁獲努力量を増加させることがないよう、許可隻数は、現状どおりとする。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

敷網漁業及び小型まき網漁業については、現状の漁獲努力量を増加させることがないよう、許可隻数は、現状どおりとする。

共同漁業権に基づく小型定置漁業及び定置漁業権に基づく定置漁業については、現状どおりの統数を維持することとする。

この結果、漁獲実績が知事管理量を超えないように努める。

（するめいか）

共同漁業権に基づく小型定置漁業及び定置漁業権に基づく定置漁業については、現状どおりの統数を維持することとする。

また、5トン未満の動力船を使用して釣りによりするめいかをとることを目的とする漁業については、現状の漁獲努力量を増加させることがないよう指導する。

この結果、漁獲実績が前年の漁獲実績程度となるように努める。

5 その他海洋生物資源の保存及び管理に関する重要事項

(1) 漁業関係者への適切な指導による管理の実効性を確保するため、特定海洋生物資源の採捕数量については、県規則で定める者以外の者からも報告を徴し、県下全体の採捕状況の把握を行うこととする。

(2) 海洋生物資源の保存及び管理をより一層推進するために、より詳細かつ正確な資源状況の把握が必要であることから、漁獲情報を的確に把握するとともに、資源に関する調査・研究の充実強化を更に進めることとする。

(3) 海洋生物資源の保存及び管理を推進するため、小型魚及び産卵親魚の保護等に向けた取組を進めることとする。

(4) 遊漁者による採捕量が資源に与える影響が大きいと考えられる魚種については、遊漁者による採捕数量の把握に努めることとする。



都市計画法（昭和43年法律第100号）第36条第3項の規定により、開発行為に関する工事の完了を次のとおり公告する。

平成26年12月26日

高知県知事 尾崎 正直

| 許可番号                     | 開発区域に含まれる地域の名称   | 開発許可を受けた者の住所及び氏名                   |
|--------------------------|------------------|------------------------------------|
| 平成26年11月7日<br>26高都計第420号 | 南国市下野田字表横手45番1ほか | 南国市岡豊町中島1535番地<br>社会福祉法人ふるさと自然村 理事 |

長 山本 恵子

内水面漁場管理委員会指示

高知県内水面漁場管理委員会指示第93号

平成26年2月21日付けの高知県内水面漁場管理委員会による「ニホンウナギの資源管理について（提言）」に基づきにほんうなぎの資源回復及び持続的利用を図るため、漁業法（昭和24年法律第267号）第67条第1項及び第130条第4項の規定に基づき、次のとおりにほんうなぎに関し、採捕の禁止を指示する。

平成26年12月26日

高知県内水面漁場管理委員会会長 樋口 清允

1 指示の内容

(1) 採捕の禁止に係る基準

全長21センチメートルを超えるにほんうなぎ

(2) 採捕の禁止の期間

10月1日から翌年の3月31日まで

(3) 採捕の禁止の区域

県内の河川等の内水面及びこれらと接続して一体を成す水面

2 指示の適用除外

1の指示は、次に掲げる場合は、適用しない。

(1) 高知県内水面漁業調整規則（昭和44年高知県規則第36号）第35条第1項の知事の許可を受けた者が、当該許可の範囲内で採捕する場合

(2) 国の機関又は地方公共団体（大学等の試験研究機関を含む。以下同じ。）が、にほんうなぎに係る調査又は試験研究を目的として採捕する場合（当該国の機関又は地方公共団体から委託、補助その他の関与を受けて採捕する場合を含む。）

3 指示の有効期間

平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

-----  
**内水面漁場管理  
 委員会公告**  
 -----

高知県内水面の第五種共同漁業に対する平成27年における増殖目標量、期間等について、平成26年12月24日に次のとおり決定したので公告する。

平成26年12月26日

高知県内水面漁場管理委員会会長 樋口 清允

1 漁業権番号、漁場名及び魚種別の放流量

| 漁業権番号   | 漁場名                  | 魚種別の放流量    |      |       |            |             |                   |
|---------|----------------------|------------|------|-------|------------|-------------|-------------------|
|         |                      | あゆ<br>(kg) | うなぎ  |       | こい<br>(kg) | あまご<br>(kg) | もくずが<br>に<br>(尾数) |
|         |                      |            | (kg) | (尾数)  |            |             |                   |
| 内共第501号 | 野根川水系                | 125        | 20   | 400   | —          | 15          | 1,000             |
| 内共第502号 | 西の川水系                | 30         | 10   | 200   | —          | 15          | 1,000             |
| 内共第503号 | 羽根川水系                | 30         | 10   | 200   | —          | 15          | —                 |
| 内共第504号 | 奈半利川水系中発電用魚梁瀬えん堤から下流 | 200        | 40   | 800   | —          | 25          | 3,000             |
| 内共第505号 | 奈半利川水系中発電用魚梁瀬えん堤から上流 | 30         | 10   | 200   | —          | 25          | —                 |
| 内共第506号 | 安田川水系                | 200        | 40   | 800   | —          | 15          | 3,000             |
| 内共第507号 | 伊尾木川水系及び安芸川水系        | 200        | 40   | 800   | —          | 15          | 3,000             |
| 内共第508号 | 赤野川水系                | 30         | 10   | 200   | —          | 15          | 1,000             |
| 内共第509号 | 物部川水系                | 300        | 70   | 1,400 | —          | 50          | 5,000             |
| 内共第510号 | 吉野川水系中発電用高敷えん堤から下流   | 300        | 70   | 1,400 | —          | 25          | 3,000             |
| 内共第511号 | 吉野川水系中発電用高敷えん堤から上流   | 30         | —    | —     | —          | 125         | —                 |

|         |                      |       |     |        |   |     |        |
|---------|----------------------|-------|-----|--------|---|-----|--------|
| 内共第512号 | 鏡川水系                 | 200   | 40  | 800    | — | 15  | 3,000  |
| 内共第513号 | 仁淀川水系                | 500   | 120 | 2,400  | — | 50  | 5,000  |
| 内共第514号 | 新莊川水系                | 125   | 20  | 400    | — | —   | 1,000  |
| 内共第515号 | 四万十川水系中発電用家地川えん堤から上流 | 200   | 40  | 800    | — | 15  | —      |
| 内共第516号 | 四万十川水系中発電用家地川えん堤から下流 | 500   | 120 | 2,400  | — | 50  | 5,000  |
| 内共第517号 | 松田川水系                | 125   | 20  | 400    | — | 15  | 3,000  |
| 計       | 17件                  | 3,125 | 680 | 13,600 | — | 485 | 37,000 |

2 種苗放流のほかに、次のような方法を組み合わせることで総合的な増殖活動に積極的に取り組むこと。

産卵場造成（河川規模及び生息環境に見合った適正な産卵場面積の算出等）  
 遡上・降下の助長（河口開削、魚道の整備、汲み上げ再放流、汲み下ろし再放流等）  
 増殖効果の改善（放流手法の改善、害魚等による食害の軽減等）  
 資源動態の把握（遡上・産卵・流下稚仔量調査等）  
 漁場環境保全活動の推進（山林及び水質の保全、水産用維持流量の確保等）

3 あゆについては、再生産につながる種苗等の放流に努めること。

4 うなぎについては、重量又は尾数のいずれかを満たせば良いものとし、放流種苗のサイズは、1尾当たり20グラムから50グラムまでのものを推奨する。また、放流の際に、異種のうなぎが混入していないことを十分に確認し、にほんうなぎ以外のうなぎが放流されることがないようにすること。

5 こいについては、コイヘルペスウイルス病のまん延防止を図るため、増殖目標量は示さない。

6 種苗放流に当たっては、コイヘルペスウイルス病のまん延防止等、魚類防疫対策に留意すること。

7 増殖を行うべき期間は、平成27年1月1日から同年12月31日までとする。

8 漁業権者は、7に掲げる期間の終了後、速やかに実績報告書を提出しなければならない。